

MySQL 5.5.11 リリースノート（日本語翻訳）

機能の追加または変更:

- MySQL のディストリビューションに、**INFO_SRC** ファイルが追加された。これは、作成元の MySQL のバージョンなど、ソースディストリビューションに関する情報を含むファイルである。MySQL のバイナリディストリビューションには **INFO_BIN ファイル** が追加された。これは、コンパイラオプションや機能フラグなど、ディストリビューションのビルド方法に関する情報を含むファイルである。RPM パッケージの場合、これらのファイルは `/usr/share/doc/packages/MySQL-server` ディレクトリにある。`tar.gz` および派生パッケージの場合、ディストリビューションを圧縮解除した場所の下位の **Docs** ディレクトリにある（Bug #42969、Bug #11751935）。
- 以前は、クエリがソートの問題によって異常終了した、またはソートの途中で **KILL** によって終了した場合、サーバが **Sort aborted** というメッセージをエラーログに書き込んでいた。現在、サーバはエラーの原因についてさらに詳細な情報を書き出すようになっている。次のような原因がある。
 - `tmpdir` のディスク容量が不十分なため、`tmpfile` が作成されない。
 - `sort_buffer_size` に割り当てるメモリが不足している。
 - ファイルソートの途中で **KILL `id`** が実行された。
 - クエリがソートを実行中にサーバがシャットダウンされた。
 - ロック待ちタイムアウトまたはデッドロックにより、トランザクションがロールバックされた、または異常終了した。
 - ソーステーブルまたはテンポラリテーブルが破損するなど予期しないエラーが発生した。同様にソートを実行していたサブクエリの処理が失敗した。
 -

（Bug #30771、Bug #11747102）

- 新しいシステム変数 **`max_long_data_size`** は現在、C API 関数 **`mysql_stmt_send_long_data()`** で送信可能なパラメータ値の最大サイズを制御する。サーバ起動時に設定しない場合、デフォルトはシステム変数 **`max_allowed_packet`** の値である。この変数は非推奨となっており、MySQL 5.6 では削除され、最大パラメータサイズは **`max_allowed_packet`** によって制御されるようになっている。

- Windows インストーラの場合は、大多数のユーザにとってダウンロードサイズが小さくなるように、デバッグ情報のファイルと埋め込み MySQL サーバが標準 MSI ディストリビューションファイルから削除されている。

これらのファイルが必要な場合には、ZIP 形式のディストリビューションを別途ダウンロードし、インストールディレクトリに展開する必要がある。インストールディレクトリは、英語版システムではほとんどの場合 `C:\Program Files\MySQL\MySQL Server 5.5` である。

製品をアンインストールする際、ZIP 形式のディストリビューションから展開したファイルは手動でシステムから削除する必要がある。

- 記載されていない **SHOW NEW MASTER** ステートメントは削除された。

修正されたバグ:

- **パーティショニング**: パーティションの多いテーブルに対して **INSERT ON DUPLICATE KEY UPDATE** ステートメントのパフォーマンスが低くなる点を以前に修正したが、その修正に問題があったため、特定のインデックスから行を読み込むハンドラ関数が、最後に使用されたパーティションの ID を格納できなかった。そのため、一部のステートメントが失敗し `Can't find record` エラーになっていた (Bug #59297、Bug #11766232)。
- `storage/ndb/test/sql` にある 2 つの未使用のテストファイルに、不正なバージョンの GNU Lesser General Public License が含まれていた。それを含むファイルとディレクトリは削除されている (Bug #11810224)。

Bug #11810156 も参照。

- 大きい数値の除算でスタックが破損する可能性があった (Bug #11792200)。
- **レプリケーション**: **DROP DATABASE** ステートメントに失敗すると、ステートメントベースのレプリケーションが中断することがあった (Bug #58381、Bug #11765416)。
- `mysql_load_client_plugin()` C API 関数が以前のエラーをクリアしなかった (Bug #60075、Bug #11766854)。
- XA トランザクションで、トランザクションのロールバックを必要とするエラー (デッドロックなど) がすでに発生している場合に **XA COMMIT** が発生すると、表明が発生していた (Bug #59986、Bug #11766788)。

- 一部のシステムで、初期化されていない変数のために `comp_err.c` のデバッグビルドが失敗する可能性があった (Bug #59906、Bug #11766729)。
- `UpdateXML()` または `ExtractValue()` の引数として使用されている閉じの一重引用符 (') 文字または二重引用符 (") 文字がない XML 文字列を処理しようとしたとき、サーバが 1 バイト多く読み込んでいた (Bug #59901、Bug #11766725)。

Bug #44332、Bug #11752979 も参照。

- サーバが `safemutex` サポートでコンパイルされていた場合、31 バイトより長い `CHAR` カラムに空間インデックスを作成しようとするときと表明違反になっていた (Bug #59888、Bug #11766714)。
- 集計にサブクエリが続くと、結果が正しくならない可能性があった (Bug #59839、Bug #11766675)。
- 以前は、バイナリログとリレーログのどちらでもパフォーマンススキーマのインストールメント機能には次のインストールメントを使用していた。

- `wait/io/file/sql/binlog`
- `wait/io/file/sql/binlog_index`
- `wait/synch/mutex/sql/MYSQL_BIN_LOG::LOCK_index`
- `wait/synch/cond/sql/MYSQL_BIN_LOG::update_cond`

現在、リレーログのインストールメント機能には以下のインストールメントが使用されるようになり、バイナリログのイベントとリレーログのイベントが区別できるようになっている。

```
wait/io/file/sql/relaylog
wait/io/file/sql/relaylog_index
wait/synch/mutex/sql/MYSQL_RELAY_LOG::LOCK_index
wait/synch/cond/sql/MYSQL_RELAY_LOG::update_cond
```

(Bug #59658、Bug #11766528)

- 不正な文字セットポインタが `my_strtoll10_mb2()` に渡されると、表明が発生する可能性があった (Bug #59648、Bug #11766519)。
- MySQL 5.5 における `FIND_IN_SET()` の動作が、5.1 のときと異なる可能性があった (Bug #59405、Bug #11766317)。

- [mysqldump](#) が、[ALTER DATABASE](#) ステートメントでデータベース名に引用符を付かなかったため、データベース名にダッシュが含まれる場合の再ロード時にエラーが発生する可能性があった (Bug #59398、Bug #11766310)。
- [MYSQL_HOME](#) 環境変数が無視されていた (Bug #59280、Bug #11766219)。
- MySQL プログラムの [--defaults-extra-file](#) オプションで、パス名の引数が無効だったため、プログラムがクラッシュしていた (Bug #59234、Bug #11766184)。
- Windows で、[mysql.user](#) テーブルに最近追加された [authentication_string](#) カラムが原因で構成ウィザードが失敗していた (Bug #59038、Bug #11766011)。
- [CREATE TRIGGER](#) と [DROP TRIGGER](#) は、ストアドルーチンの prelocking リストを変更するが、ルーチンキャッシュでその変更が検出されなかったため、ルーチンを実行するとロックリストが正しくならなかった (Bug #58674、Bug #11765684)。
- [PROCEDURE ANALYSE\(\)](#) のコードに [DBUG_RETURN](#) ステートメントがなかったため、デバッグビルドでサーバがクラッシュする可能性があった (Bug #58140、Bug #11765202)。
- アクティブな [FLUSH TABLE *tbl_list* WITH READ LOCK](#) ステートメントがあるとき、ステートメントでメタデータロックをアップグレードしようとする、と、表明が発生していた。現在は、このような状況でステートメントがメタデータロックをアップグレードしようとする、サーバからクライアントに [ER TABLE NOT LOCKED FOR WRITE](#) エラーが返される (Bug #57649、Bug #11764779)。
- マルチテーブル更新が2つのエイリアスを通じて行を更新する場合に、最初の更新で物理的に行が移動され、2番目の更新は行の検索に失敗していた。そのため、ストレージエンジンによって異なるエラーが発生したが、それらのエラーは問題を正確に表していなかった。
 - [MyISAM](#): Got error 134 from storage engine
 - [InnoDB](#): Can't find record in 'tbl'

MyISAM の場合は、非トランザクショナルであるため、最初実行される更新は実行されるが2番目の更新は実行されなかった。また、同じマルチテーブル更新ステートメントが2つある場合、一方は成功するが、もう一方はレコードが実際に移動したかどうかによって失敗することがあり、矛盾が生じていた。

現在は、複数のエイリアスを通じてテーブルを更新し、少なくともそのエイリアスの一方で物理的に行が移動されるような更新を実行すると、エラーが返される (Bug #57373、Bug #11764529、Bug #55385、Bug #11762751)。

- [EXPLAIN EXTENDED](#) に続く [SHOW WARNINGS](#) 出力に、出力できない文字が含まれる可能性があった (Bug #57341、Bug #11764503)。
- 以前のステートメントが失敗していると、[SHOW WARNINGS](#) は空の結果を返す場合があった (Bug #55847、Bug #11763166)。
- Windows で、スレッドローカルストレージのオブジェクトが、作成される前に使用される可能性があった (Bug #55730、Bug #11763065)。
- クライアントが SSL を使用して接続されている場合、[Ssl_cipher_list](#) ステータス変数が空になり、想定される暗号タイプを示さなかった (Bug #52596、Bug #11760210)。
- [mysqlcheck](#) (または、[mysqlcheck](#) を呼び出す [mysql_upgrade](#)) を使用してテーブルをアップグレードすると、テーブルの修復が必要と判定された一部のテーブルがアップグレードされなかった。具体的には、修復が必要な [InnoDB](#) テーブルのアップグレードに失敗するため、非アップグレードの状態になっていた。これは以下の原因で発生していた。
 - [mysqlcheck --check-upgrade ---auto-repair](#) が、現在のバージョンの MySQL と互換性のないテーブルをチェックする。[CHECK TABLE ... FOR UPGRADE](#) ステートメントを発行し、結果を調べることによってそれが実行される。
 - 互換性がないと確認されたテーブルに対し、[mysqlcheck](#) が [REPAIR TABLE](#) ステートメントを発行するが、[InnoDB](#) のように修復操作をサポートしていないストレージエンジンでは、これが失敗する。その結果、テーブルが未変更のままになる。

この問題を修正するために、[CHECK TABLE ... FOR UPGRADE](#) と [mysqlcheck](#) に以下の変更を加えた。[mysql_upgrade](#) は [mysqlcheck](#) を呼び出すので、この変更で [mysql_upgrade](#) の問題も修正される。

- テーブルは修復を必要としているが、そのストレージエンジンが [REPAIR TABLE](#) をサポートしていない場合には、[CHECK TABLE ... FOR UPGRADE](#) で返されるエラーを変更する。

以前:

Error: [ER_TABLE_NEEDS_UPGRADE](#)

Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE ``tbl_name``" or dump/reload to fix it!

現在:

Error: **ER_TABLE_NEEDS_REBUILD**

Table rebuild required. Please do "ALTER TABLE `tbl\_name` FORCE" or dump/reload to fix it!

- *mysqlcheck* は新しいエラーを認識し、**ALTER TABLE ... FORCE** ステートメントを発行する。**ALTER TABLE** の **FORCE** オプションは認識されるが何も実行していなかった。現在は実装が済み、NULL 変更操作として動作するのでテーブルは再ビルドされる。

(Bug #47205、Bug #11755431)

- **CASE ... WHEN** 引数の文字セットが異なっている場合、8 ビット値が **utf16** 値または **utf32** 値として参照され、表明が発生する可能性があった (Bug #44793、Bug #11753363)。
- 1 つのスレッドでビットマップ関数を使用すると、別のスレッドで使われるビットマップが変更され、表明が発生する可能性があった (Bug #43152、Bug #11752069)。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。